



福祉施設及び福祉作業所における
牛乳パック(飲料用紙パック)リサイクルの現状に関する調査

—調査報告書—

2014年3月
全国牛乳パックの再利用を考える連絡会

□目 次□

はじめに.....	1
1 調査概要.....	2
1-1 調査目的.....	2
1-2 調査対象と調査方法.....	2
2 福祉施設及び福祉作業所の活動状況（調査結果）.....	3
2-1 回収を行っている施設、作業所の概要.....	3
2-2 2013年度の牛乳パック回収状況.....	4
2-3 牛乳パックを使用した製品づくりの状況.....	6
2-4 調査のまとめ.....	7
2-5 事例報告.....	8

—資料編—

アンケート集計表.....	資料-1
アンケート表.....	資料-12

はじめに

牛乳パックリサイクルは、1984 年に上質なパルプで作られている牛乳パックを使い捨てにするのは「もったいない」と考えた山梨県の母親グループにより始められました。

しかしながら、当時は両面にラミネートされているポリエチレンフィルムがネックとなり、回収先がなかったため、個人でも体験できる、手漉きはがきづくりや、牛乳パックに和紙を貼った小物づくりを通して、リサイクル啓発の手段としていました。

この紙漉きや小物づくりが、危険性がなく、障害のレベルに応じて作業工程が組みやすいことから、全国各地の福祉施設や福祉作業所に取り入れられるようになりました。さらに、地域とのつながりを強め、利用者の社会参加の機会にもなると、牛乳パックの回収活動にも取り組む所も増えて、牛乳パックリサイクルが障害者の仕事づくりの、大きな柱となっていきました。

家庭から排出される紙パックリサイクル率は、事業者団体である全国牛乳容器環境協議会による調査の結果、2012 年度実績で 33.8 %となっておりますが、調査対象が自治体、量販店、学校等であるため、年間 10 トン以上もの牛乳パックを回収している福祉作業所があったり、また、小物づくりにしても、例えばスツールを作るためには 30 枚程度の牛乳パックが必要となり、仮に年間 100 個のスツールを作れば、1 トンの牛乳パックが原料になっていたりなど、牛乳パックが、全国の福祉施設及び作業所で有効に利用されている実態は反映されていない状況です。

そこで、当会は全国牛乳容器環境協議会のご支援のもと、2003 年実施以来となっていた本調査を、今年度実施した次第です。

前回の 2003 年調査の対象数は 155 か所でしたが、今回は交野市に所在する「紙好き交流センター麦の会」のご協力をいただき、542 か所を対象といたしました。そのうち約 63 %に相当する 343 か所からアンケート回答をいただき、回収率も前回の 47 %を大きく上回り、多くの福祉施設及び福祉作業所にご協力をいただいたことに深く感謝しております。

本調査の結果を、今後の牛乳紙パックのリサイクルを進めていく上において、役立てていきたいと考えております。

平成 26 年 3 月 31 日

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会

1 調査概要

1-1 調査の目的

本調査は、牛乳パックの回収や牛乳パック古紙を利用した製品づくりを行っている福祉施設及び福祉作業所の活動状況ならびに牛乳パックの回収量について把握することを目的とする。また、調査結果を牛乳パッククリサイクルの推進に役立てるための基礎資料とする。

1-2 調査対象と調査方法

(1) 調査対象の選定にあたって

牛乳パック回収団体は、自治体が支援し把握している団体（いわゆる集団回収）と自治体が支援していないため把握できていない団体と大きく2つに分けることができる。後者には、牛乳パックの回収等を行っている一部の福祉施設や福祉作業所が含まれる。福祉施設は、全国に8,000カ所ほどあるといわれ、施設名簿や牛乳パック回収に関わっている施設の数や活動状況の全国的な調査は困難であるのが現状である。

ただし、主要な牛乳パック回収施設等については、全国牛乳パックの再利用を考える連絡会（以下、全国パック連）が把握しており、その概要を調査することは可能である。今回、全国パック連が把握している施設を抽出し、調査対象とすることにした。

(2) 調査方法

牛乳パック回収活動や製品づくりに関わる福祉施設及び福祉作業所を対象にアンケート調査を実施した。調査期間は2013年8月から11月である。

調査対象数は、542施設で、回収数は343施設（回収率63.28%）となった。なお、調査対象の抽出には大阪府交野市の「紙好き交流センター 麦の会」にご協力を頂いた。



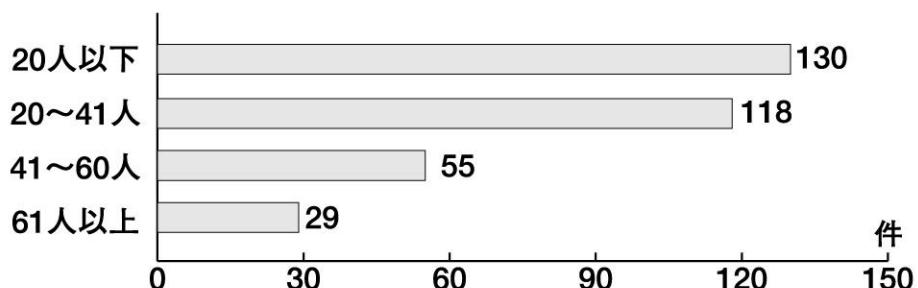
2 福祉施設及び福祉作業所の活動状況(調査結果)

調査の結果、牛乳パック回収や牛乳パックを利用した製品づくりを行っている施設は 313 施設で有効回答数 (343) の 91.2 % であった。

2-1 回収を行っている施設、作業所の概要

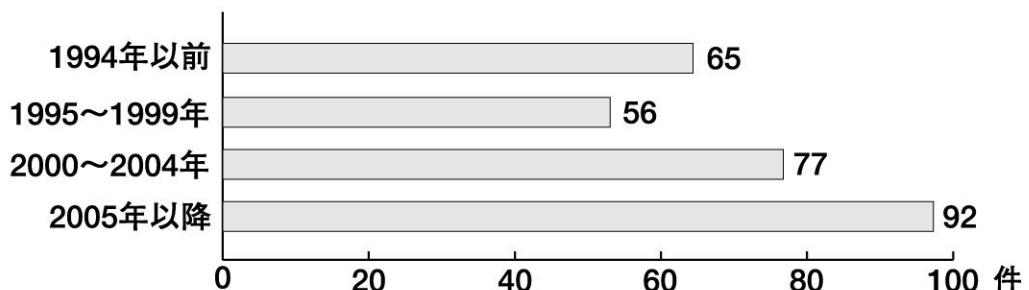
(1) 施設、作業所の規模

施設の定員を回答した 332 施設をみると「41 人以下」の施設が 74.7 % となっている。



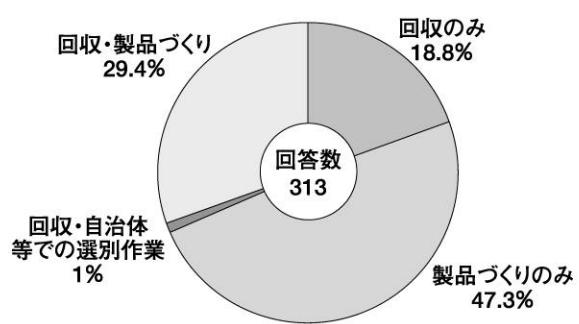
(2) 牛乳パック回収や製品づくりを開始した時期

牛乳パック回収活動は、1990 年代前半に大きな拡がりを見せたが、1995 年以降に取り組みを始めた施設が全体の 77.6 % を占める。2005 年以降に開始した施設が最も多い。



(3) 牛乳パックを扱うおもな作業内容

施設で行っている作業内容は、製品づくりのみを行っている施設が 148 施設で 47.3 % を占める。回収と製品づくり両方を行っている施設が 92 施設で 29.4 % 、回収のみを行っている施設が 59 施設で 18.8 % となっている。回収・製品づくり・自治体施設での選別作業を行う施設はなかった。

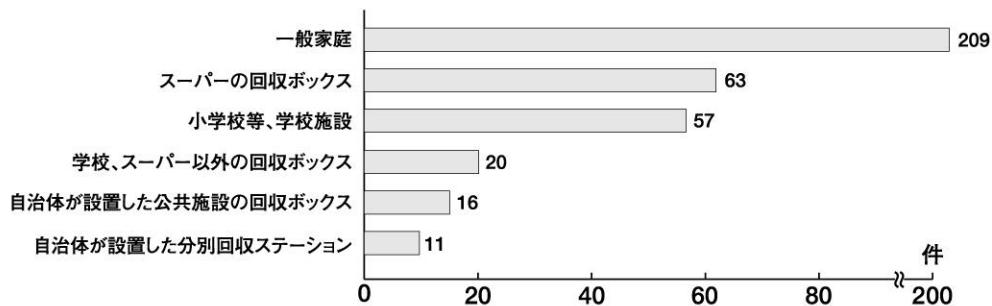


2-2 2013年度の牛乳パック回収状況

(1) 施設、作業所の規模

回収先は、「一般家庭からの回収」が209施設と最も多い。ただし多くの施設は、一般家庭以外の回収先も確保している。次いで「スーパー・マーケットに設置された回収ボックス等」が63施設、「小学校等、学校施設で集められる牛乳パックを回収」が57施設である。

2005年に実施した「福祉作業所・市民団体の現状調査」と比べると、上位3カ所は変わらないが、「学校、スーパー以外の回収ボックス」の回答順位がひとつ上がっている。

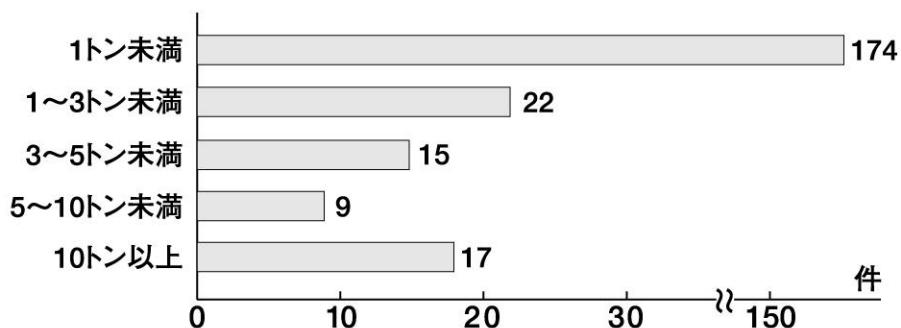


(2) 2013年度の牛乳パック回収量

牛乳パック回収量	934.6921 トン／年 (回答数 237) 平均 3.9438 トン／年
うち、アルミつき紙パック	3.3231 トン／年 (回答数 69) 平均 0.0482 トン／年

※上記の数字は、枚数で量を管理している施設には1Lパック30枚で1kgと換算してもらった。
また、年単位で管理していない回答は、月単位の回収量を年換算とした。

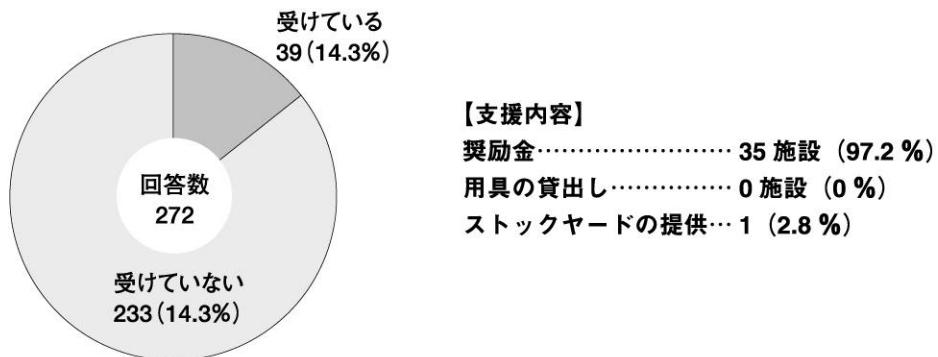
1施設あたりの平均年間回収量は、約4トンであった。回収量は年間数kgから228トンと回収規模には差が見られる。1トン未満の回収規模が圧倒的に多く、174施設(63.7%)となった。



(3) 行政支援の有無について

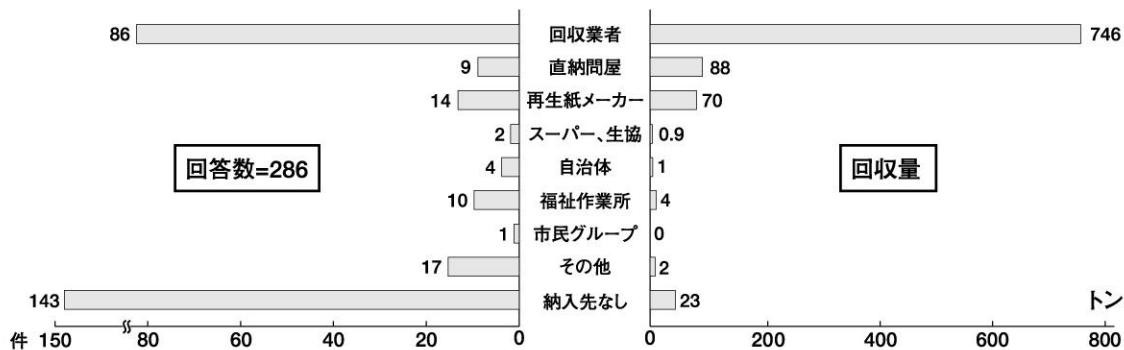
回収を行っている施設で、行政からの支援を受けているところは、39 施設にとどまった。支援は奨励金が殆どで 35 施設 (97.2 %) となった。

奨励金は、牛乳パック 1kgあたり平均 6.1 円／kg となっており、施設単位での支給（定額制）の場合は、牛乳パック 1kgあたり平均 4 円／kg、平均月額 11,500 円となっている。



(4) 納入先

納入先は、回収業者が最も多く 86 施設 (31.6 %) となっている。次いで再生紙メーカー (5.1 %)、福祉作業所 (3.7 %) となっている。また、「すべて製品づくりに使うので、納入先はない」とした施設は 143 施設 (52.6 %) となっており、半数程度の施設は、回収後全て製品づくりに使っていることになる。



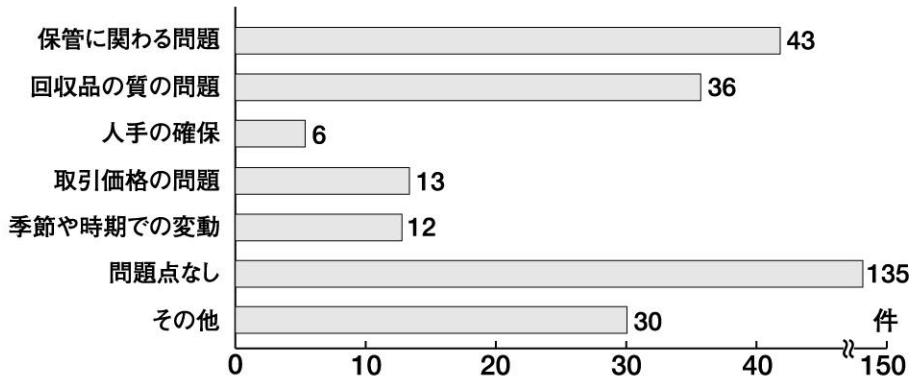
(5) 取引価格

	最低	最高	
古紙回収業者 (回答数 71)	1 ~ 15 円／kg		平均 8.23 円／kg
古紙直納問屋 (回答数 6)	2 ~ 16 円／kg		平均 10.66 円／kg
再生紙メーカー (回答数 11)	2 ~ 16.1 円／kg		平均 9.74 円／kg

古紙回収業者、古紙直納問屋、再生紙メーカーとも無償 (0 円／kg) の取引はなかった。

(6) 回収上の問題点

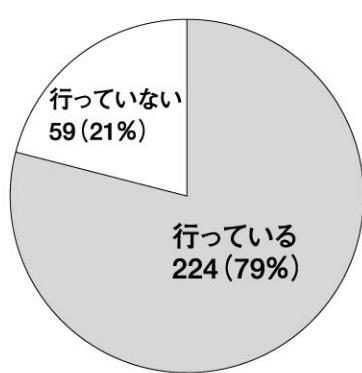
「現状では特に問題点はない」との回答が最も多く、135 施設（56.7 %）となった。問題点としては、「ストックヤード等の牛乳パックの保管に関する問題」が 18.1 %、次いで「回収品の質の問題」（15.1 %）となっている。



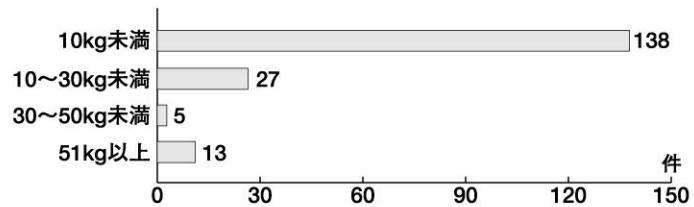
「保管に関する問題」と回答した 43 施設の平均回収量は 5,511.16kg、「問題点なし」と回答した 135 施設の平均回収量は 3,267.2kg であった。回収量が多ければ、当然保管の問題が出てくると思われ、また、保管の問題があり、回収量を増やしたいが増やせないという施設も見受けられた。

2-3 製品づくりの状況

(1) 実施状況



(2) 製品づくりのための牛乳パック使用量(1ヶ月当たり)



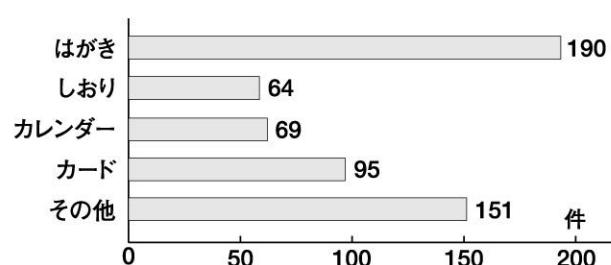
回答のあった 183 施設で最も多いのは「10kg 未満」で、138 施設（75.4 %）であった。51kg 以上使用している施設は、13 施設（7 %）であった。

殆どの施設では、回収した牛乳パックの一部を製品づくりに使っている。また、施設利用者の家族や近隣住民から持込まれるわずかな牛乳パックで製品づくりをしているところも多く見られた。

(3) 製品の内容

はがきが最も多く、190 の施設で作られている。次いでカード、名刺、カレンダー、しおりとなっている。

複数回答が多く、殆どの施設で複数の製品を作っている。



2-4 調査のまとめ

本調査において、牛乳パックの回収活動や、牛乳パックを利用した製品作りを行っている施設は 336 か所中 287 か所にのぼり、約 85 % の福祉現場において、牛乳パックリサイクルに関する作業内容を組んでいることがわかりました。

(1) 牛乳パックの回収状況

本調査において、牛乳パックを含む飲料用紙パックの回収を行っている施設は、154 か所で、回収量は約 935 トンにのぼりました。

回収方法は、一般家庭から持ち込まれるケースと、地域の拠点である学校やスーパー等へ回収に回るケース、また生協や自治体で回収したもの整理するケースなど多様であり、いずれも福祉現場が牛乳パックリサイクルのキーステーションとして、大きな役割を担っていることがわかります。

(2) 牛乳パックによる自主製品づくり

主な作業内容として、牛乳パックを利用した製品作りを行っている施設は 240 か所にのぼり、製品作りのみ行っていると答えた施設は、全体の 47.3 % の 148 か所と、最も多い結果となりました。

製品の種類としては、はがきが最も多く、次いでカード、名刺、カレンダーと、紙漉き作業を通して、製品をアレンジするという工夫が見られます。

(3) 今後の課題

回収においては、これまで拠点協力をしていたスーパーが、担当者の交代に伴い、独自のリサイクルルートに切り替えていく店舗が増え、回収量が一気に減少したという事例が見られました。

各店舗へ回収に出向くことが、障がい者の社会参加につながり、ヒアリング調査においても、利用者が牛乳パックの回収や納品に出かけることを、自分の仕事の誇りとしているとの話を聞くにつれ、量販店に対して、福祉現場における牛乳パック回収の重要性を伝え、社会貢献の角度からの理解、協力を求めていく活動が必要になっています。

自主製品づくりに関しては、安定的な生産と販路の確保が課題となっています。そのための情報交流を求める声も少なくありません。

本調査に協力してくれた「紙好き交流センター麦の会」では、福祉作業所のネットワークの中継ステーションとなり、注文の内容レベルに応じて、作業所に注文を振り分け、場合によっては材料も供給し、さらに完成品を集約し検品して出荷する等のサポートを行い、大量注文へも対応できる体制を確立しています。こうした情報提供やそれぞれの技術やアイディア交換の場を作ることが重要になっています。

また、製品作りに使用する紙パックの量の把握が充分でない所も多く、福祉作業所自身が回収及び製品作りの原料の取扱い量を押さえることも、紙パックを持ち寄って下さる地域の方々に対して必要なことではないかと思います。

2-5 事例報告

1 蛇草障がい者作業所「パオ」 大阪府東大阪市

開所 ● 1988年

回収開始年 ● 1996年 年間回収量 ● 84,239キロ 作業に関わる利用者数 ● 10名

概要

地元の小、中学校の卒業生とその親たち、地域の人々、母校の先生方が協力し合い、進路、将来を考えて共に地域で生活していく場所として開所。2007年より「地域活動支援センターⅢ型」に移行。「関西ミルクロードの会」加盟。

回収・商品づくりについて

当初は、紙漉きによる製品づくりを主に手掛けていたが、現在は回収がメイン。スーパー万代の各店舗、地元の小、中学校、商店街等が拠点協力をしてくれ、そこから回収。整理した紙パックを段ボールに詰め、それを回収業者が引き取りに来る。特にスーパー万代は、回収活動を始めた当時から一緒に苦労しながら現在の回収形態を確立。

再製品化された「おかえりティッシュ」「ただいまロール」を作業所で販売。

意義・課題等

回収したものの中には家庭ごみが混ざっていることもあったが、万代側で回収ボックスを店舗内に設置することにより、混入が減った。

回収を行っていることが地域で認知されているため、個人的に高齢者が一枚でも持つて来てくれるようなこともある。また「ただいまロール」等も固定客がおり、地域社会のつながりを大切にしていきたいし、できる限り地元にも還元もしていきたい。



●スーパー万代からの回収の様子



●パックの箱詰め作業



●回収したパックを洗浄



●紙漉きの下準備

2 NPO法人 みんなの労働文化センター 兵庫県尼崎市 開所●1984年

回収開始年●1990年 年間回収量●53,000キロ 作業に関わる利用者数●8～15名

概要

みんなの労働文化センターは、障がい者の仕事づくり及び尼崎市での効率的な紙パック回収システムを目指す市民団体「尼崎パックルネット」の回収業務と事務局を担当。再生品の利用推進にも力を入れている。また、関西一円の牛乳パック回収団体約40団体で構成されている「関西ミルクロードの会」の事務局も担当。

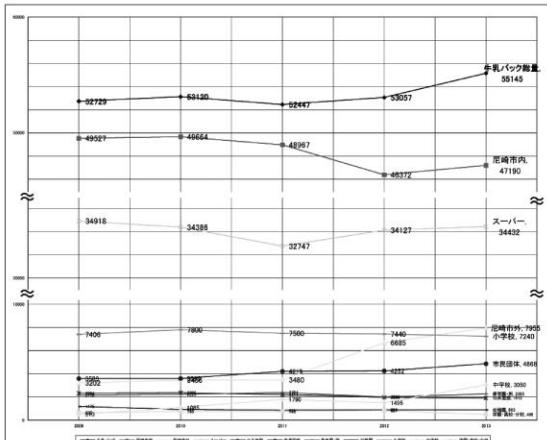
回収・商品づくりについて

市内の幼稚園、保育園、小・中学校、公共施設、スーパー等約120カ所より、ワゴン車、トラックを使って回収。回収後、直納問屋を通して再生紙メーカーに納入。小学校、幼稚園等には牛乳パック10kgと、みんなの労働文化センターオリジナルティッシュ「ぱっくる」を1個、または「エコあま君ロール」(尼崎エコクラブの商品)2個と交換している。

意義・課題等

公共施設の回収ボックス内には、まれに一般ごみが混ざっていることもあるが、全体的には「洗って、開いて、乾かして」は浸透してきている。但し、まだリサイクルの意識やマナーについての啓発活動が必要を感じる。小学校での環境教育も、より積極的に取組んでいきたい。

紙パックの回収は、障がい者と市民がふれ合える貴重な機会であり、障がい者自身も使命感を持って毎日回収に取組んでいる。そういった場をより拡げたいと思っているが、例えばスーパーで店長が変わってしまったり、小学校でリサイクルに熱心だった先生が転勤してしまったりすると回収先や回収量が減ってしまうことがある。更に回収先を増やすことが、今後の課題。



●毎年度、回収量を回収先別にグラフ化。個々の回収先の回収量も細かくグラフ化して増減を把握

③社会福祉法人 桃花塾 大阪府富田林市 創立●1916年 開所●2003年(通所部)

回収開始年●2003年 年間回収量●48,020キロ 作業に関わる利用者数●40名

概要

関西で最も古い知的障がい者施設。通所部開所時に様々なリサイクル活動の一環として、紙パックによる紙漉きを始めたことをきっかけに回収にも取組む。現在では回収量、紙漉きによる自主製品のアイテム数も増えている。通所部併設のショップでも製品を販売。「関西ミルクロードの会」に参加。

回収・商品づくりについて

地元のスーパー、学校等を中心に回収。最寄りの古紙問屋に納品し、一部を紙漉きに使用。様々な製品を作り、現在はカレンダー用の紙としてA3程度の紙を月に700枚生産するほどに。回収していることが地域に認知されてきているので、新規で大量の回収依頼もある。

意義・課題等

回収、紙漉きによる製品づくりは、障がいのレベルに関わらず、必ずどこかの工程で仕事として携われる所以で、障がい者が自分の仕事として参加でき、達成感を感じられる。それが、やりがいや社会参加につながる。



回収された紙パックの中には、てんぷら油やごみが入っているものもある。また、以前に比べれば減ってきてはいるが洗浄が不十分なものもあり、特に夏場の作業所の臭い等、作業環境の改善が課題。最近のスーパーからの回収量を見ると、紙パック製品の売上そのものが落ちているのではないかと感じる。



●分別作業



●古紙問屋への納品用にまとめる作業



●紙漉き作業の様子



●様々な製品を作り、ショップで販売している

4紙好き交流センター 麦の会

大阪府交野市

開所●1989年

回収開始年●1990年 年間回収量●1,200キロ 作業に関わる利用者数●5名

概要

障がい者が自立できるような仕事作りをサポートするために、自立の意志を持った各地の福祉作業所をネットワーク化。現在、全国約600カ所。紙漉きの技術的な指導のみならず、必要な情報提供や販路開拓のアドバイス等、個々の作業所の規模やニーズに応じた支援を実施。

回収・商品づくりについて

周辺地域の福祉作業所が回収したものや地元のスーパー、大学等から回収したものを回収業者に引渡し。隣がスーパーなので、買物に来た際に持込んでくれる地域住民も多い。一部は製品づくりに使用。多種多様な製品づくりを心掛けている。クライアントの要望に応えるために、ポスター等の一般紙を紙パックのパルプに漉き込んだ製品も作る。紙漉きには乾燥工程が不可欠なので、例えば梅雨の時期には薄いもの、夏には厚手のもの等、気候に合わせて製作。

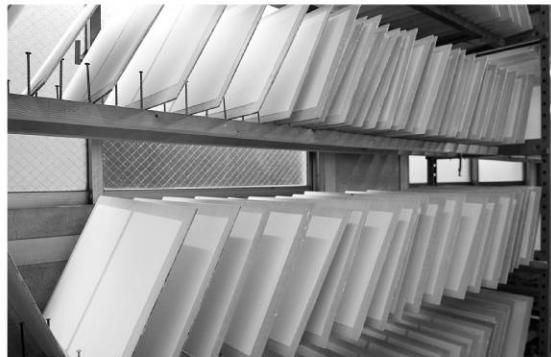
意義・課題等

各福祉作業所をネットワーク化し分担することで、同じ規格・品質の製品を大量に一斉に作ることが可能になった。更にそれを進めるためには、各施設の紙漉き技術の向上が不可欠。技術指導や機械の貸出し等も含め、今後も品質面、生産性向上のサポートをしていきたい。「良いもの」を提供することによって、仕事として成り立ち、結果として障がい者の自立につながる。

手仕事ならではの風合いがある手漉き紙をもっとPRし、販路も拡大していきたい。



●紙漉きの様子



●乾燥工程



●圧搾工程



●クライアントのニーズに合わせた様々な商品を製作

5 社会福祉法人 和光会 笠松あんじゅ園 福岡県飯塚市 開所●1966年

回収開始年●2010年 年間回収量●36,000キロ 作業に関わる利用者数●20名

概要

知的障がいのある方が他の利用者の方々と共同生活を送りながら、社会生活を営むために必要な準備ができる「障がい者支援施設」。障がいのある方が、地域で安心して生活を送ることができるようにと、筑豊地方に48年前に設立。

回収・商品づくりについて

施設内作業として紙パックを再利用した手漉き紙の製造・販売を行っていたが、2010年にコーヒーショップチェーンと、全国パック連、紙好き交流センター麦の会、(株)山田洋治商店で検討を始めた、店舗で排出される業務用牛乳パックの回収について、地元4店舗と協議し、回収を始められた。

福祉施設による事業系紙パックの回収は全国でもあまり事例がなく、回収システムを確立するのに苦労したが、現在は30店舗と増加している。作業内容は、紙パックの回収・洗浄・ラミネートはぎ・紙漉き・裁断・印刷と、利用者の方に合わせて、交替しながら工程を組んでいる。

意義・課題等

回収量が増えたことで、利用者の方の工賃の増額につながった。

現在、1社のコーヒーチェーンの店舗を回っているが、他社のコーヒーチェーン等の店舗へも拡がっていって欲しい。



●トラックで回収



●一時保管後仕分け作業

6 社会福祉法人 ひびき福祉会 アクティビティセンターひびき

大阪府東大阪市

開所 ● 1977年

回収開始年 ● 1994年 年間回収量 ● 34,980 キロ 作業に関わる利用者数 ● 20名

概要

障がいのある方たちの働く場として、無認可共同作業所として開設して以来、1984年に法人認可されてからも、一貫として障がいのある人こそ施設の主人公として事業を進めている。

「創造」「安全」「感謝」「正義」「連帯」の5つの言葉を基本精神として、障がい者の福祉事業を推進しています。

回収・商品づくりについて

障がいのある方が作業をすることにより、工賃を得て、生きがいのある毎日が送れる。その一環として紙パックの分別回収を行っています。

週1~3回、協力していただけるスーパーマーケット（近商、万代、イオン系）を2トントラックで回り、紙パックを回収。回収した紙パックには、トレイやアルミ付き紙パックなどが混ざっているので、紙パックとその他のゴミに分別。分別した紙パックは、有価で古紙問屋（前田紙業）さんに届けてリサイクルされ、売上げが障がいのある方の工賃になります。

意義・課題等

重度の障がい者が多いため、小作業（分別作業、持ち運び作業）が個々人でやれる作業として意義が高い。

課題としては、回収をさせてくれるスーパーが減ってきていている。店頭回収ボックス等から回収したビニール袋の中には、ごみなどの不要物も多く、市民に紙パックをリサイクルするとどのような製品になるのか、そのためには分別が重要であることを理解して欲しい。



● トラックによる回収



● 荷卸しの様子



● 一度で多くの量を回収



● 仕分け作業

資料編

福祉施設・福祉作業所集計表

(回収数 343)

最初に、貴施設について伺います

Q1 貴施設の概要について伺います。

- ① 施設名 (回答数=342)
- ② 施設の定員 (回答数=332)

20人以下	130 (39.2%)
21～41人	118 (35.5%)
41～60人	55 (16.6%)
61人以上	29 (8.7%)

- ③ 施設の開設年 (回答数=330)

1994年以前	132 (40.0%)
1995～1999年	58 (17.6%)
2000～2004年	81 (24.5%)
2005年以降	59 (17.9%)

- ④ 牛乳パック回収や製品づくりを開始した時期 (回答数=290)

1994年以前	65 (22.4%)
1995～1999年	56 (19.3%)
2000～2004年	77 (26.6%)
2005年以降	92 (31.7%)

- ⑤ 施設での主な作業内容

牛乳パックを扱う作業はどのようなことをされていますか。(回答数=313)

1 牛乳パックの回収作業	154 (49.2%)
2 牛乳パックを利用した製品づくり	240 (76.7%)
3 自治体施設等での牛乳パック選別作業	4 (1.3%)

1のみ回答	59 (18.8%)	1と2的回答	92 (29.4%)
2のみ回答	148 (47.3%)	1と3的回答	3 (1.0%)
3のみを回答	1 (0.3%)	1と2と3的回答	0 (0.0%)

※複数回答のため、割合の合計が100%にならない。

牛乳パックの回収や製品づくり活動について伺います

Q2 貴施設では、現在、牛乳パック回収活動や牛乳パックを利用した自主製品づくりを行っていますか。

(回答数=336)

1 行っている	287 (85.5%)
2 行っていない	49 (14.5%)

牛乳パックの回収や受入状況について伺います

Q3 貴施設の牛乳パック回収・受入活動の形態はどのようなものでしょうか。該当する番号に○印をつけてください（複数回答可）

(回答数=278)

1 一般家庭から牛乳パックを回収する	209 (75.2%)
2 自治体が設置した分別回収ステーション等から回収する	11 (4.0%)
3 小学校等、学校施設で集められる牛乳パックを回収する	57 (20.5%)
4 スーパーマーケットに設置された回収ボックス等から回収する	63 (22.7%)
5 学校、スーパー以外に設置された回収ボックス等から回収する	20 (7.2%)
6 自治体が設置した公共施設の回収ボックス等から回収する	16 (5.8%)
7 その他	89 (32.0%)

※複数回答のため、割合の合計が100%にならない。

Q4 貴施設の昨年度の牛乳パック回収・受入量を記入してください。昨年度のデータがない場合は直近1ヵ月間の回収・受入量を記入してください。アルミつき紙パックを回収している場合は、下の枠にアルミつき紙パックの回収量を記入してください。

※枚数で量をまとめている場合には、1ℓ牛乳パック30枚で1kgに換算してください。

牛乳パック回収量	934,692.1kg/ 年 (回答数=237)	平均3,943.8kg/ 年
上記回収量のうち アルミつき紙パック	3,323.1kg/ 年 (回答数=69)	平均48.2kg/ 年

Q5 貴施設では、行政の集団回収に登録し、牛乳パックの回収について奨励金や用具の貸し出しなどの支援を受けていますか。該当する番号に○印をつけてください。
(回答数=272)

1 支援を受けている	39 (14.3%)
2 支援は受けていない	233 (85.7%)

Q6 どのような支援を受けていますか。該当する番号すべてに○印をつけてください。
(回答数=36)

1 奨励金を受けている	35 (97.2%)
2 回収活動に必要な用具の貸し出しを受けている	0 (0%)
3 ストックヤードの提供を受けている	1 (2.8%)

※複数回答のため、割合の合計が100%にならない。

Q7 奨励金を受けている方に伺います。奨励金額と支給を受けている市町村名を表に記入してください。なお、奨励金の支給が回収量に応じてではなく、施設単位で支給される場合（定額制）は下記へ記入してください。

牛乳パック 1kg 当たり	平均6.1円／kg (回答数=29)
定額制の場合：	平均4.0円／kg (回答数=2)
	平均月額11,500円 (回答数=2)

Q8 貴施設では、回収した牛乳パックをどちらに収めていますか。複数の取引先がある場合には、おもな取引先を1つだけ選び○印をつけてください。また、下段の納入形態について該当する番号に○印をつけてください。 (回答数=286)

おもな納入先	1 回収業者	86 (31.6%)
	2 直納問屋	9 (3.3%)
	3 再生紙メーカー	14 (5.1%)
	4 スーパー、生協	2 (0.7%)
	5 自治体	4 (1.5%)
	6 福祉作業所	10 (3.7%)
	7 市民グループ	1 (0.4%)
	8 その他	17 (6.3%)
	9 すべて再生し製品づくりに使うので、納入先はない	143 (52.6%)

(回答数=124)

納入形態	1 納入先が牛乳パックを取りにくる	49 (39.5%)
	2 納入先に牛乳パックを持っていく	73 (58.9%)

Q9 牛乳パックの取引価格について伺います。昨年度における平均的な取引価格を記入してください。 (回答数=109)

平均11.9円／kg

Q10 貴施設では、牛乳パックの回収にあたって何か問題点がありますか。もしあれば該当する番号に○印をつけ、具体的な内容を（ ）内に記入してください（複数回答可） (回答数=238)

1 ストックヤード等の牛乳パックの保管に関する問題	43 (18.1%)
2 回収品の質の問題	36 (15.1%)
3 検品作業等の人手の確保	6 (2.5%)
4 牛乳パックの取引価格上の問題	13 (5.5%)
5 季節によって回収量・取引量が異なるなど、時期に関する問題	12 (5.0%)
6 現状では特に問題点はない	135 (56.7%)
7 その他	30 (12.6%)

※複数回答のため、割合の合計が100%にならない。

牛乳パックを再生した製品づくりについて伺います

Q11 貴施設では牛乳パックを再生した製品づくりを行っていますか

(回答数=281)

1 行っている	224 (79.0%)
2 行っていない	59 (21.0%)

Q12 どのような製品をつくっていますか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

(回答数=224)

1 はがき	190 (84.8%)
2 しおり	64 (28.6%)
3 カレンダー	69 (30.8%)
4 カード	95 (42.4%)
5 その他	151 (67.4%)

※複数回答のため、割合の合計が100%にならない。

その他回答：名刺(77)、封筒(20)、ポチ袋(19)、一筆箋(16)、コースター(16)、イス(11)、便箋(10)など

Q13 月間、どのくらいの牛乳パックを原料として使っていますか。製品の量から計算して、おおよその量でかまいませんので、使用量を記入してください。ほぼ、全量使用している場合は、回収量と同じ量を記入してください。アルミつき紙パックを使用している場合は、下の枠にアルミつき紙パックの使用量を記入してください。

牛乳パック使用量	4,974.7kg/月 (回答数=183)	平均27.2kg/月
上記回収量のうち アルミつき紙パック	252.9kg/月 (回答数=58)	平均4.3kg/月

牛乳パックリサイクルに関するご意見をお聞かせください

Q14 牛乳パックのリサイクルについて、ご意見があればご記入ください（どのようなことでも結構です）

(回答数=84)

和紙作り等でネット検索しても問題解決しない。又、本も少なく困っている。 特になし
製品の流通について、もっと事業所間の連携がとれることを希望します。 独自の製品のオリジナリティも大切ですが、共同受注による作業の効率化も希望します。 一度、いろいろな事業所との意見交換の場もあればと思います。
いつもお世話になっております。 はがきや名刺の売り先に悩む日々ですが、営業力を身につけないといけないな…と痛感しております。今後ともよろしくお願いします。
現在、受託作業、下請け作業のあい間に再生し漉き作業をしている状態の為、殆ど稼働していない状況で、ストックしてある在庫で需要に対応しています。 特になし
自社製品づくりを、今の現状で行っているが、正直時間がありません。何か、より効率よくリサイクル製品づくりできるいい方法がありましたら、おしえて下さい。宜しくお願い致します。
牛乳パック（ネタ）が足りなくなり、各スーパーさんにお願いした時、大手は自社でリサイクルしています、とのことで、ネタが手に入りにくい事がありました。各施設の方々は、どうしていらっしゃるのか、と思っています。
500ミリリットルの小型のパックも回収してほしいと思います。環境事業局が月・金から月～金まで受け入れ日を広げてくれたことは助かります。
販路拡大のための営業力が弱い（製品）
以前は牛乳パックを再生したはがきやコースターをつくっていたが、現在は利用者の高齢化、重度化に伴い作業内容が変わってきて、再生した製品づくりは行っていない。牛乳パックの回収は続けていき、以前のように製品づくり（現在できる内容のもの）を行いたい。他のリサイクルも考えていく。
職員の名刺も牛乳パックのリサイクル品ですが、先方にお渡しすると「和紙ですか！？」と訊かれます。リサイクルだと伝えると、びっくりされます。それだけ立派な紙に再生されるのですね。
てすき製品だけでなく、他にどのような製品作りに生かせるのか知りたい。 回収に協力いただいている方で、中を洗わずに持って来られ、何日かたって中がカビになったものもある。持ち込まれる方には洗って持ち込んでほしい。でも、協力には感謝する。

フィルムのめくりにくいものがあり、利用者の方には難しいことがあるので、どんな種類でもうまくめくれる方法があれば教えてもらえたならありがたいです。
年に一度、カレンダー作りを2、3年しています。
紙すき作業は行っていますが、売上がとても少ないです。
牛乳パックの再利用法として自主製品を製作しているが、はがきやしおり等のポピュラーな物以外で他に作れるものはないか。牛乳パックの再利用方法について情報交換できる場がほしい。
名刺や症状など、その他リサイクルを図りたいが他部署での生産活動が稼働していないので納入先を探している。
牛乳パックを買い取ってくれる所があれば教えてほしい
今のところ特になし
以前はハガキ、うちわ等自主製品の制作をおこなっていたが、納品先の確保、作業面積の確保、利用者の重度化等から現在は回収のみ取組を行っているが、一定量確保するまでの衛生面、保管場所の確保が困難になってきている。
牛乳パックを溶かすのに、家庭用のジューサーミキサーを使用していますが、業務用のパック専用に溶かすミキサーがあれば紹介をして頂きたい。
学校や家庭で牛乳パックを使って（できれば簡単に）できる小物製品等の紹介物がもう少しあれば日常の作業活動にいかせるかなと思ってます
オットマンを作っている。牛乳パックが、利用者様の工賃になるので、地域とのかかわりを今以上にしようと思う
いつもお世話になっております。牛乳パックを店頭で回収させて頂いた事はあります、どうしても材料になるまでの工程で、洗浄や異物が入る事での時間を必要としておりました。いろいろな施設への声かけにより、今は施設から頂く事を中心に利用しています。牛乳パックで再生する紙は酒パックや他の紙より纖維が粗く手漉き感は表しやすいと感じてます。
今後も少ない量で小さな活動になると思いますが地道に活動していきたいと思ってます。
使用が少なく特に感じるものはありません
紙すきをつくっていますが、紙質がまばらになってしまって、どうしたら良いか知りたい。
以前パック作成前のロールを頂き、めくる作業や製品づくりを行っていたが、現在は入ってこないので中止している。以前のように材料の供給はお願いできないか。
リサイクル作業で古紙、段ボール、古布の回収作業を行っています。利用者の作業の一環で、ハサミで切って広げてストックして、量がたまると業者に運搬しています。協力してくださっている地域の皆さんの中には、切って広げてあるものもあり、利用者の作業として取り組めないものもあります。単価が良いので、回収作業も続けられています。

現在のところ置き場所等の問題で回収していません。製品づくりにもそんなに量は必要と存じません。必要なときは家族に頼んでいます。

製紙会社に見学に行ったとき、製品の中に牛乳パックを混ぜないと次の製品にならないことを知りました。私達作業所もかなり長く回収作業をしていますが、まれにですが、洗ってなく開いてないパックが置いてあります。カビが生え、臭いもすごくこうなると洗ってもなかなか落ちません。みんなでひと手間かけてリサイクルして下さると、資源のない私たちの国は助かるのです。

牛乳パックに段ボール等をつめて土台にしたものを、正座イスやスツールにしてバザー等で販売している。

障害の重いメンバーにとっては大切な仕事になっています。

牛乳パックがバージンパルプで出来ていてリサイクルしないともったいないということがよく理解できる内容でした。資料送付、ありがとうございました。

本当のリサイクルは再生紙を作ることだと思いますが、当施設では丈夫さを活かしてスツール等を作っています。原材料費のほとんどかからない製品づくりですので、工賃アップにつながっています。

手間がかかる(汚れを取り、切って袋に詰める)わりには、引取価格が安すぎる。

リサイクルセンターへ来所する利用者に声をかけると多く入ってくる。毎月としては少ない。

当作業所で行っている牛乳パック作業は、生協からパックを預かり、一定の重量に梱包し、生協に返却する作業を行い、手数料を生協から頂くというものです。

リサイクルの意識やマナーについての啓蒙活動をより行って頂きたい。

回収した牛乳パックを以前はすみれ作業所(郡上市)まで搬入していましたが、人員、高速料金等運搬が困難になってしまい、現在では回収業者に出しています。多治見市付近(生協多治見支所、店等)で納入できればと思います。

小さな作業所でリサイクルするには大変手間と経費がかかりますが、それを製品価格に反映できないので赤字です。ただ、メンバーの作業としては有効かと思います。

回収ボックスは有料になったと聞いていますが、1つ800円でということですが、無料で回収ボックスを差し上げますというチラシがありました。どちらが本当ですか。コンビニでは臭いや衛生上の問題があり、全部外部に設置しているので、ひどくなると交換していかなければならない。

牛乳パックの再利用として取り組んでいますが、リサイクル取り組みはしていません。あくまで原料として活用しています。

以前から町の資源ごみで牛乳パック回収はありました。手間がかかるため、可燃ごみに出す家庭もあったようです。私たちが回収を始め、それまで可燃ごみに出していた人が、回収ボックスに入れるようになったとの話も聞き、嬉しく感じています。

当施設は協力施設からの寄付で、酒パックを利用して全て商品製作で使用しています。回収活動にともなう報奨金制度、内容を教えて頂ければありがとうございます。
いつも牛乳パックを集めるのに苦労しています。このたびアンケートに同封されていた回収ボックスのビラを見て、申し込んでみようと思います。
リサイクルは身近なところで誰しもが参加できるもの。それがどのようになっていくか、よく知ると、パックを出す人もイメージがついて良いと考える。
当施設では紙パックを使った製品を作っているが、なかなか販売先が確保できずにいる。
特になし
酒パックはアルミをはがしてから納品していますが、他の施設ではどのように処理しているのでしょうか？
和紙と同じ様に牛乳パックを利用し漉きたいが、板にはりつくなどなかなか上手く漉くことが出来ない。
リサイクルどんどん推進したいので、地域の中で出来るだけ協力し合い、現状打開に励みます。
リサイクルについて知らないことがあり、学習させて頂きました。日々の活動の中で役立てたいと思います。ありがとうございました。
パックを使ってのはがき作りは、利用者の方が多くの工程で関わることができます、楽しい作業なのでぜひ続けていきたいのですが、はがき自体の需要が減っていてバザー等あまり売れないのが現状です。地域の方が、通りに面した場所に設置してある入れ物にパックを入れて下さり、地域の方との接点としても意義があると考えています。
資源の再利用、エコの観点からもとても大切で有益なことだと思います。そしてこのことが利用者の作業、創作活動に活かされていることを踏まえますと、私ども支援者も資源の有効活用をより心がけてまいりたいと思います。
中央区ではリサイクルに対する意識が強く、たくさんの方が回収ボックスを利用されている。我々がやらせて頂いてる仕事もこうした地域の人たちの意識の強さがあってこそだということを忘れずに励んでいきたい。
牛乳パックにアルミが貼ってあるものは回収できず、長野市では古紙としても回収ができないため結局ゴミにしかならない。回収をするとゴミも増えてしまう点が困っている。
今後も継続して回収に取り組んでいきたいと思います。
牛乳パックで商品を作る際、紙漉き作業においてミキサーを使用します。ミキサーの使用回数も多く、故障もたびたびです。何か助成金等あれば助かります。
紙漉きでは、殆ど楮が多く、牛乳パックはわずかです。

<p>ビニールをきれいにはがせば、とてもきれいな紙を漉くことができます。はがし残しがあると、不自然なごみが目立ち仕上がりにひびきます。パックの銘柄により、ビニールをはがしやすく紙原料がしっかりとれるものとそうでないものがあります。ジュースなどのパックは、薄くてうまくはがれません。</p>
<p>学校教育との連携に有効なのでは。(ボランティア活動、リサイクル教育等)</p>
<p>市が資源回収品目に牛乳パックを加えたので、回収からは手を引き、トイレットペーパーなどの普及に重点を移しました。しかし最近郵便局からいつの間にか回収ボックスが撤去されたり、スーパーの回収ボックスがゴミ箱化していたりを見るにつけ、運動として継承されているのか、再構築が必要ではと思うこの頃です。トイレットペーパーは障害者優先調達法を活用し、拡大しています。</p>
<p>作業所移転の為、しばらく休んでいます。</p>
<p>作業として牛乳パック、酒パックを使用していますが、牛乳パックのリサイクル自体についてはあまり考えたことがありません。作っている製品については、牛乳パックから良いものができるので、いい作業だと思っています。出来上がるまで、いろいろな工程があり、一つ一つ覚えてすべてをできるようになることで、利用者さんも自信を得ています。</p>
<p>フィルムの剥離が難しい。</p>
<p>紙パック回収は、リサイクルの中でだいぶ定着してきてゴミになる率は、減つてきているように思います。パックだけでなく、すべてのものを使い捨てにしないようにしなければいけませんよね。</p>
<p>本来の仕事と分担しているため、ボランティアさんの確保が難しい。</p>
<p>上手に循環が岩手でもできたらとても素晴らしい取り組みだと思います。</p>
<p>まだまだ知識や知恵が足りてないので、アドバイス頂けたらと思います。</p>
<p>1Lの牛乳パック6枚分がトイレットペーパー1個に生まれ変わるとすれば、紙リサイクルの代表的な素材であると言えます。牛乳パックのリサイクルへの意欲的な取り組みが循環型社会の構築に向けて大きな社会貢献につながるを考えています。地域に根差し、地元の住民一人一人が触れ合うことができるのもリサイクル作業の大きな利点でもあります。</p>
<p>牛乳パックを集めるのはなんとかなるが、紙として販売していくのは難しい。製品となるとそれ以上の手間がかかるので、販路を広げる営業的活動がなかなかできずにいる。</p>
<p>プレスお世話になりますが、当面よろしくお願ひします、また研修によさせていただきます。</p>
<p>いろいろ情報が欲しい。</p>
<p>リサイクル活動や仕分け作業として慣れた活動となっているが、回収した牛乳パックを今は活かしきれていないのが現状と思われる。殆ど回収業者に仕分けしたものを持って行ってもらってお金にしている状態です。</p>

色々な商品を作っていますが、より良い商品を作りたいと思っております。需要とニーズに合った商品開発に努めたいので、ご指導の程よろしくお願ひいたします。(特に紙漉きに関すること)

リサイクル、リユースということが見直されてる今こそ、大切なことと考えています。

企画や団体など連携していきたい。

ストックがたまっているため、以前回収していた近隣給食センターからの回収を中止している。製品の売り上げがあがらず、苦慮している。

紙以外の商品化で何か面白いものがつくれないかと考えています。

牛乳パックを茹でると、すぐにカビが生えてしまいダメになってしまいますが、長持ちさせる方法はありますか？

紙漉きを行う工程で、利用者にやってもらうための工夫について考えさせられます。フィルムをきれいに効率的にめくる方法があればいいと思います。

資源の再利用の大切さを小学校で教えている中、学校側から回収の依頼の連絡をしても「ごみになるから引き取れない」と断る業者があるそうです。

最初に、貴施設について伺います

**福祉施設及び福祉作業所における
牛乳パック（飲料用紙パック）リサイクルの現状に関する調査への
ご協力のお願い**

Q1 貴施設の概要について伺います。

① 貴施設名	人		
② 施設の定員		年 (西暦でご記入ください)	
③ 施設の開設年		年 (西暦でご記入ください)	
④ 牛乳パック回収や製品づくりを開始した時期		年 (西暦でご記入ください)	
⑤ 施設での主な作業内容 牛乳パックを扱う作業はどのようなことをされていますか。 右欄の該当する番号に○印をつけてください。(複数回答可)	1 牛乳パックの回収作業 2 牛乳パックを利用した製品づくり 3 自治体施設等での牛乳パック選別作業		
⑥ ご担当者名	電話番号		
⑦ ご連絡先	FAX番号		
	電子メール (差しつかえなければご記入ください)		

牛乳パックの回収や製品づくり活動について伺います

Q2

貴施設では、現在、牛乳パック回収活動や牛乳パックを利用した自製品づくりを行っていますか。

- 1 行っている
- 2 行っていない

◆問い合わせ先

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会（パック連）
〒164-0003 東京都中野区東中野4-6-7 東中野パレスマンション201
TEL : 03-3360-1098 FAX : 03-3360-7090
E-mail : info@packren.org URL : http://www.packren.org

「1」を選んだ方は**Q3へ進んでください。**
「2」を選んだ方はアンケートは終了です。ご回答ありがとうございました。参考にさせていただきます
ので、このまま返信用封筒に入れてご持函ください。

牛乳パックの回収や受入状況について同います

Q3 貴施設の牛乳パック回収・受入活動の形態はどのようなものでしょうか。該当する番号に○印をつけてください。（複数回答可）

- 1 一般家庭から牛乳パックを回収する
- 2 自治体が設置した分別回収ステーション等から回収する
- 3 小学校等、学校施設で集められる牛乳パックを回収する
- 4 スーパーマーケットに設置された回取ボックス等から回収する
- 5 校舎、スーパー以外に設置された回取ボックス等から回収する
- 6 自治体が設置した公共施設の回取ボックス等から回収する
- 7 その他（ ）

Q4 貴施設の昨年度の牛乳パック回収・受入量を記入してください。昨年度のデータがない場合は直近1カ月間の回収・受入量を記入してください。アルミつき紙パックを回収している場合は、下の枠にアルミつき紙パックの回収量を記入してください。

* 枚数で量をまとめている場合には、1ℓ牛乳パック30枚で1kgに換算してください。

牛乳パック回収量		kg
----------	--	----

該当する番号に○印をつけてください。
左記の数値は、
1 昨年度の実績
2 直近1カ月の実績

福祉施設・福祉作業所向け調査票

Q9 牛乳パックの取引価格について伺います。昨年度における平均的な取引価格を記入してください。

円／kg

Q10 貴施設では、牛乳パックの回収にあたって何か問題点がありますか。もしあれば該当する番号に○印をつけ、具体的な内容を（ ）内に記入してください。（複数回答可）

- 1 ストッケヤード等の牛乳パックの保管に関する問題
- 2 回収品の質の問題
- 3 検品作業等の人手の確保
- 4 牛乳パックの取引価格上の問題
- 5 季節によって回収量・取引量が異なるなど、時期に関する問題
- 6 現状では特に問題点はない、
- 7 その他

牛乳パックを再生した製品づくりについて伺います

Q11 貴施設では牛乳パックを再生した製品づくりを行っていますか

- 1 行っている（Q12～）
- 2 行っていない（Q14～）

Q12 どのような製品をつくっていますか。該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）

- 1 はがき
- 2 しおり
- 3 カレンダー
- 4 カード
- 5 その他

福祉施設・福祉作業所向け調査票

Q13 月間、どのくらいの牛乳パックを原料として使っていますか。ほぼ、全量使用している場合は、おおよその量でかまいませんので、使用量を記入してください。ほぼ、全量使用している場合は、回収量と同じ量を記入してください。アルミつき紙パックを専用している場合は、下の枠にアルミつき紙パックの使用量を記入してください。

牛乳パック使用量	kg／月
上記使用量のうち アルミつき紙パック	kg／月

※参考：製品の牛乳パック使用量の目安
はがき 100 枚分：牛乳パック 0.3kg（牛乳パック 10 枚）
名刺 100 枚分：牛乳パック 0.1kg（牛乳パック 3.3 枚）

牛乳パックリサイクルに関する意見をお聞かせください

Q14 牛乳パックのリサイクルについて、ご意見があればご記入ください（どのようなことでも結構です）

ご協力ありがとうございました。返信用封筒にて 9 月 30 日（月）までにご提出ください。

福祉施設及び福祉作業所における
牛乳パック(飲料用紙パック)リサイクルの現状に関する調査
—調査報告書—

2014年3月発行

発行

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会

〒164-0003 東京都中野区東中野 4-6-7-201

TEL 03-3360-1098 FAX 03-3360-7090 www.packren.org
